

氏名：かながわてつお金川鐵夫

活動名：シャクナゲ園を活用した地域と連携した地域づくり

所在地／長門市俵山大羽山

(活動紹介)

1 活動の目的

個人の趣味として、約40年前から自宅の裏山や休耕田で種から苗を育て、交配を繰り返し、俵山の風土に合った品種に改良するなどして、シャクナゲを育ててきました。現在は、2ヘクタールの敷地に130種、2万本余りまで拡大したシャクナゲ園を観光や地元住民との交流の場として活用し、地域の活性化にもつながればと思い活動しています。

2 これまでの活動内容等

数年前からシャクナゲ園を通りかかる方々が立ち寄られるようになり、ロコミやマスコミで取り上げていただき、現在は、市内外から多くの観光客をお迎えするようになりました。また、地域や都市との交流のため、地域の方々や行政などと協力しながら、次のような活動を展開してきました。

◆ シャクナゲ園の無料開放

園の運営当初から、シャクナゲ園を訪れた方には自由にご覧いただいています。拡大した園の維持には苦慮するところですが、来場者の心遣い（募金）により、管理費を捻出しています。

◆ 都市との交流

5年前から、俵山発展促進協議会青年部と協力して、グリーンツーリズム事業や地域づくりインターン事業にシャクナゲ園での花がら摘みや草刈を取り入れ、都市住民との新たな交流を生み出しています。

◆ 地域との協働

花の見頃には、同協議会青年部などの有志による地元の特産品販売所が設置され、経済効果の一助にもなっているようです。また、シーズン後の花がら摘みには、地域内外から多くのボランティアの方々にご協力いただき、交流の場にもなっています。

3 活動の展望

これからも、俵山地域、長門市の活性化のために、地域の方々とともにシャクナゲ園を活用した活動を続けていきたいと思っています。



【見頃を迎えたシャクナゲ園】



【地域づくりインターン事業に参加した大学生と】